
君に届け

咲間

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

君に届け

【Nコード】

N5461D

【作者名】

咲間

【あらすじ】

母校で司書を勤めている真田は、ある日図書館で過去の恋人へ宛てた手紙をその妹に発見される。手紙を盾に小悪魔に翻弄される日々が始まる。

第一話

放課後の図書室は、静寂が支配する。ページを捲る音でさえやけに大きい。昼休みの賑やかさとは打って変わって、人影は少ない。部活動に勤しむ生徒ばかりで、図書館になんて見向きもしない。

調べ物をしているグループや、少数の常連そして司書。これが全てだ。全員合わせても十数人程度だろう。常連の生徒は、ほぼ毎日やって来る者もいる。

吉崎詞乃もその一人だ。他の常連がそうであるように、いつも決まった席に座っている。入り口から一番離れた机の、窓側。夕日で緋色に染まる様は、なかなか絵になる。紅い空に気づくと、帰る準備を始めるのもいつものことだ。

「貸し出し手続き、お願いします」

アルトの心地良い声。『彼女』と同じ響きだ。

「それと…真田先生。この手紙に覚えはありますか？」

少し黄ばんだ封筒。便箋には右上がりの文字…。

宛名は。

「それは……」

甘酸っぱい、というには夢を見すぎだった過去の証人。

「ロマンチストですね」

ぐっ。

「若かったんだよ……昔の話だ。」

「姉には見つけてもらえなかったみたいですね。その妹に発見された心情を、今度聞かせてください。」

すでにいたたまれないのに、これ以上墓穴を掘る前に、と送り出すことにした。

「さあ暗くなる前に帰りなさい。最近は何騒だからね」

吉崎が、不敵に笑った。

「そんな真っ赤な顔して。先生、可愛い」
なっ。

「な、何言って…」

反論する前に、吉崎は本と手紙を手にして扉の前に立っていた。
「遅くなる前に帰ります。最近、物騒ですからね」

一瞬、振り返った吉崎は、満腹の猫のように目を細めて笑っていた。

（悪魔に魅入られた気分だ……）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5461d/>

君に届け

2010年10月24日07時01分発行